

代表樹種 タブノキ



〔撮影場所; 門司区新門司〕

クスノキ科 タブノキ (楠) 別名//イヌグス 常緑広葉高木 樹高15~20m

クスノキ科の多くは共通した特有の芳香があり(葉や幹肌に傷を付けると匂う)、このタブノキもクス、ニッケイ、ヤブニッケイなどと同様である。自然樹形としては、クスノキ同様大きく横に広がる。

身近に目にする同科の樹木中、タブの葉が一番大きい。葉のつき方は掌状に近い。



葉と幹肌



街路樹としての代表的路線

門司区 新門司臨海1号線

小倉北区 国道3号、西港地内線

小倉南区 朽網248号線

八幡西区 国道3号